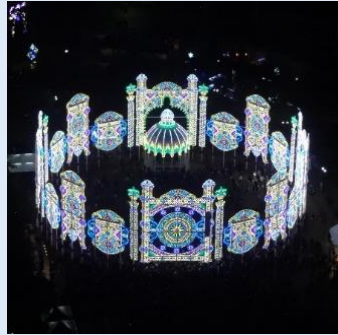


## 1 東遊園地の概要

名称	東遊園地		
所在地	神戸市中央区加納町6丁目		
公園種別	地区公園	規模	約2.7ha
開設年	1875(明治8)「内外人遊園地」として開設		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国有地盤</li> <li>• 国登録記念物(名勝地関係)</li> </ul>		



## 3 社会実験の取り組み

### ■芝生回復実験: 大規模イベント後の芝生の回復を実証する取り組み



### ■にぎわい創出事業: 芝生広場を活用した公園の魅力高める取り組み

#### 《育てるプログラム》



#### 《公募プログラム》



#### 《自主プログラム》



## 2 東遊園地の目標・将来像

【目標①】歴史文化の薫りを楽しむ

【目標②】都心の回遊性を高める

【目標③】心に残る景色を創る

【目標④】市民の想いで賑わいを創る

【目標⑤】しなやかにまちの安全・安心を高める

### 《東遊園地の将来像》



### 「BE KOBE」神戸を誇り、神戸への愛着が育つ場所 都心を美しく彩り、新しい出会いと交流が生まれる遊園

#### 1. 人が主役の公園 一公園が人と人をつなぐー

神戸の都心に新しい人の流れをつくり、新しい出会いと交流からにぎわいが生まれる公園。神戸の特色でもある「進取の気性」を活かし、若い世代のクリエイティブな発想・活躍を応援する公園。

#### 2. '神戸らしさ'が光る公園 一公園が山・海・まちをつなぐー

旧居留地の歴史や文化が感じられる公園。旧居留地の多文化共生や新たなレクリエーション創出の精神を継承し、神戸の海・山・まちの魅力をつなぐ拠点となる公園。

#### 3. 'しなやかな器'となる公園 一思いやくみをつなぐー

市民や民間活力との連携によるマネジメントや、様々なかたちの利用を柔軟に受けとめる、持続可能な包容力のある公園。



## 4 都市スケールの考え方

### 関連事業

- KOBEパークレットの整備
- 三宮ブラッツのリニューアル
- 葦合南54号線の整備
- フラワーロード『光のミュージアム』の整備
- コミュニティサイクル「コペリン」の拡充
- 三宮クロススクエアの整備
- 新たなバスターミナルの整備
- メリケンパークの再整備
- 神戸ポートオアシスの建設
- 新港突堤西地区再開発事業
- 本庁舎2号館再整備等



### 都市スケールの考え方

**パークコネクト**  
まちと海を緑のオープンスペースでつなぐ  
えき〜まち空間からウォーターフロントへ  
みどり(公園やオープンスペース)の中を  
歩いて 楽しく 安全に  
回遊できる都市



再整備の考え方

- 東遊園地の将来像を実現するための基本計画を「再整備の考え方」としてまとめた。
- 基本的な考え方を「東遊園地をまちに向かって開いていく」と定め、残したいもの、変えたいもの、創りたいもの、の3つの視点で整理した。

再整備の考え方 >>>

東遊園地を、まちに向かって開いていく

残したいもの

— 次世代につなぎたい —

変えたいもの

— 安全や安心、利便性の視点から改変が必要 —

創りたいもの

— 神戸の都心・東遊園地の未来を見据えて新たに創りたい —

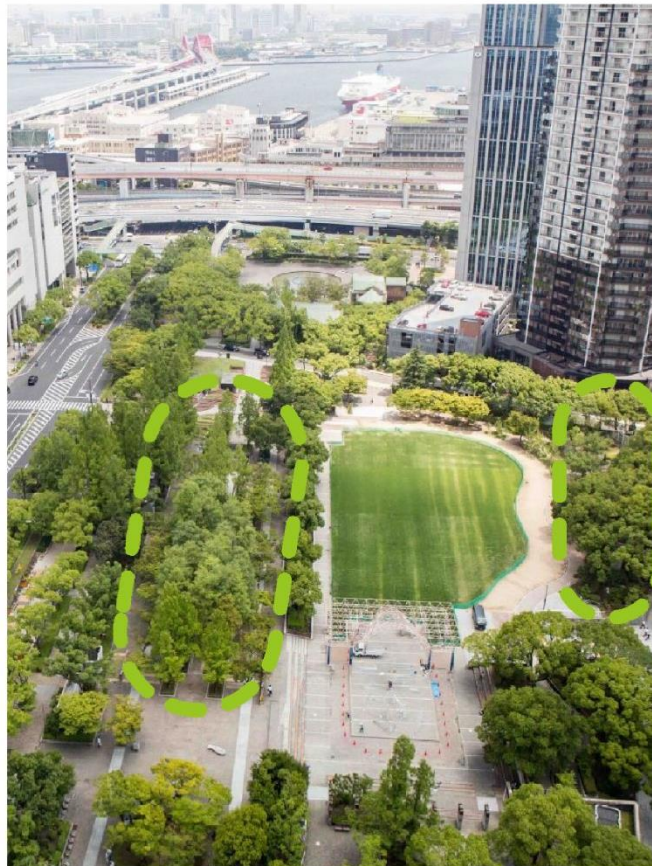
1. 『慰霊と復興のモニュメント』

- 阪神・淡路大震災を記憶し慰霊する空間を守る
- 復興の歩みを後世に伝える



2. 都心の豊かなみどり

- 神戸の都心三宮の貴重なみどりを保全し活用する
- シンボルとなるみどりや、緑陰をつくるみどりなど



1. 空間どうしの分断感

- フラワーロードと公園を分断している中低木や構造物
- 公園内の空間（広場）を分断している中低木や構造物
- 北側園地と南側園地の分断感



2. 閉鎖的な街角

- フラワーロード側から公園の入口がわかりにくい
- 旧居留地に対して閉鎖的なエントランス空間



3. ウォーターフロントへの結節点（南側園地）

- 南側園地が有効活用されていない（利用が少ない）

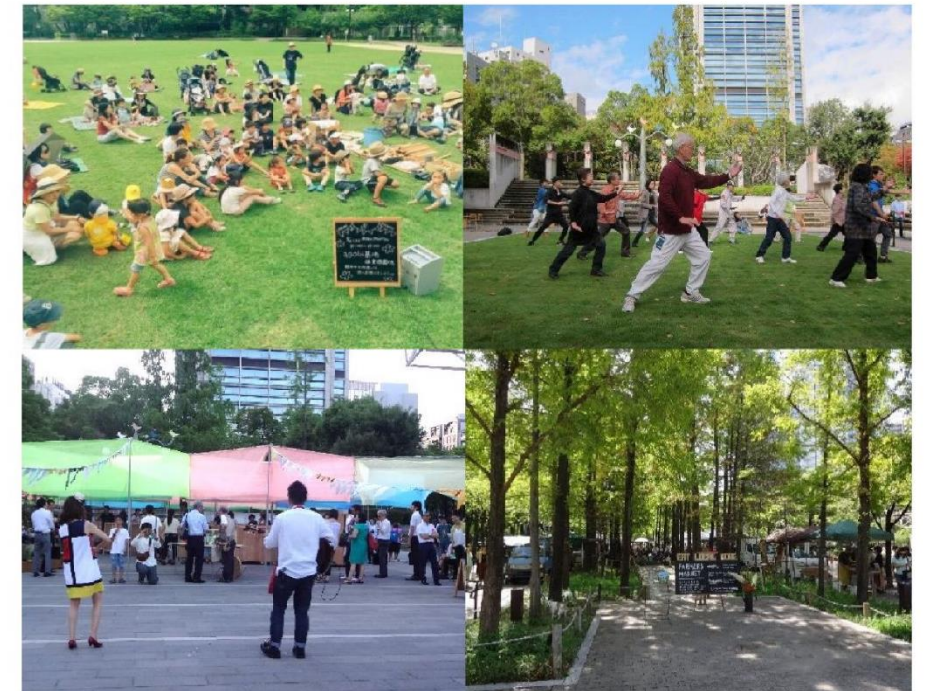


4. 東遊園地の歴史や文化を伝える彫刻等

- 神戸や東遊園地の歴史・文化を市民や来訪者につたえられるような彫刻やモニュメントの再配置の検討が必要

1. しなやかな器となる広場

- 日常的にくつろげる、市民のアウトドアリビングとなる芝生広場
- 多様なプログラムやイベントに対応できる広場



2. にぎわいや交流が生まれる拠点施設

- 北側園地  
(例) カフェ+αの機能をもつ拠点施設
  - 南側園地
- 1段階 既存建物を活用した花みどりの管理拠点
- 2段階 都心の回遊性を高める拠点施設

イメージ（南池袋公園）



3. 花時計

- 神戸のシンボルである、花時計の移設



### 再整備の考え方

- 南北の園地や公園とフラワーロードなど空間どうしの一体感を高めるとともに、しなやかな器となる広場、にぎわいが生まれる拠点施設等を配置。
- 周辺で進んでいる関係事業とより柔軟に連携していくために、基本的な考え方を示した上でより優れたデザインを検討していく。

